

## 2学期通知表数値から推測できる内申点評価

2学期最大のヤマ場「期末テスト」が始まりました。特に受験生にとってはこのテスト結果が通知表数値に大きく関わります。1学期と2学期の通知表を元に各教科の内申点数（5段階評価）が決まります。

- 1学期「4」→2学期「4」の生徒は90%内申点が「4」です。
- 1学期「3」→2学期「4」の生徒は70%「4」
- 1学期「4」→2学期「3」の生徒は50%「4」

5教科の内申点は最終的に1月冬休み明けの課題テストで決まります。したがって、1学期の通知表数値を思い出して、「3」の教科を優先的に勉強してください。特に実技教科においては数値を「1アップ」するだけで内申点は「+7.5ポイント」あります。本番入試では2倍の「+15点」に相当します。いま一度、1学期の通知表を見て何を上げるべきか検討しましょう〔野垣勝彦〕

11月・12月のおもなスケジュール		
11/23	土	勤労感謝の日【授業あり】 中3入試突破ゼミ・期末直前ゼミ 高2保護者会・英検ESG祭り【小4~6】
24	日	第2回三田祥雲館模試
30	土	中3入試突破ゼミ
12/1	日	教育相談会【授業なし】 中3公開テスト【会場受験】
2~4		教育相談会【授業なし】
5	木	冬期講習新クラス発表
7	土	中3入試突破ゼミ・新高1保護者会
8	日	自習室開室（12:00~18:00） 特進館縁日（13:00~17:00）
14	土	中3入試突破ゼミ
15	日	自習室開室（12:00~18:00）
19	木	冬期講習スタート
30	月	年末年始絶対合格感動合宿① やる気UPコンサート

※年末年始の休室は12/31~1/2の予定です。

## 父の背を見て

先日、私の父が70歳を迎えました。自営の運送屋は畳みましたが、ドライバー不足の影響で今も配達の仕事をしています（宅配は二度とやらないそうです）。70歳の祝いに京丹後の料理旅館でただゆっくり過ごす旅行に連れて行きました。窓際のソファに腰掛けて海を眺めながらポツリと「贅沢やなあ」とつぶやいていました。数年前まで家計を支え、今も忙しく配達をして回っている父からすると、何もしない時間というのはとても贅沢なものだそうです。翌日、前を歩く父の姿を見て、ペンギンみたいだと思いました。長年の運転生活で腰を悪くしたようです。幼い頃に見た父の姿よりも、この日見た父の背の方がずっと大きく感じました。〔金子祐太〕

第5回  
**英検ESG祭り**  
小学校英語での「英語でできること」を測る  
**英検ESGを全国一斉実施!**  
試験日 2024年11/23(土) 13:50~14:30  
特進館学院 三田教室にて  
準2級以上を目指す生徒の登竜門。  
塾生もきょうだいもお友だちも無料  
ですので参加しよう!【小4~小6】

## 1日1度自分をほめてみる

余っているノートを使い切ろうと思ひ、調べていたところ、「ほめ日記」なるものを見つけました。内容はただ毎日最低1つ、ほめられる自分の行動を見つけてそれについて書いていくだけです。毎日何かといそがしいですがそんな時こそ、自分をほめて、昨日の自分より、いいところ、がんばったところを見つけていくべきだと考えます。今日は昨日より10分早く起きた自分えらい!〔厚地香里〕

10月の「自習王」決定!  
★中学生の部  
中3 堤 伊桜里 164.4 時間  
★高校生の部  
高3 堤 優斗 155.0 時間

12月分 11月 27日 (水)  
学費の振替

12月19日(月)より冬期講習会を実施いたします。順次ご案内を配布いたしますので、ご確認ください。なお講習費につきましては記載の当学院指定口座までお振込みをいただけますようお願いいたします。

## 日本人の描く、日本の言葉

あたまを雲の上に出し 四方の山を見おろして  
かみなりさまを 下にきく 富士は日本一の山  
青空高くそびえ立ち からだに雪の着物着て  
かすみのすそを 遠くひく 富士は日本一の山



代表北村の独り言  
特進館には専任(正)社員だけでなく優秀な非常勤(パートナー)スタッフも多数。その彼ら彼女らがこの時期悩むのが、例の「103万円の壁」。時給が上がるごとにどんと働く時間が減っていく矛盾...でも、例の政党の躍進でこの悩みが解決しそうでこれはとてもうれしい!

富士山を歌った文部省唱歌。正式名は、「ふじの山（作詞者：巖谷小波／作曲者：不詳）」。日本人なら誰でも知っている歌で、歌詞がすべての美しい情景を表していますよね。

近ごろ、人工知能とかAIとかが、もてはやされるご時世になってはいますが、やっぱり日本人の描く、日本の言葉は、ほんとうに美しく最高であると、私は考えています。

日本がこれからも世界の国々としっかりつながるためのコミュニケーションツールとして、英語（英会話）は言うまでもなく大事ですが、国語（日本語）はその礎として、それ以上に大切なもの。これから世界へ羽ばたく子どもたちには、この美しい日本の言葉をずっとずっと忘れないでいてほしいものです。〔北村昌弘〕

**編集後記**  
毎日の献立にも悩まされますが、お弁当のおかずにも悩まされます。晩ごはんのおかずを多めに作り、お弁当に使いまわすのが常ですが、残らず食べつくされることもあれば、お弁当にいれるには適さないおかずのこともあり…。暑い時期を過ぎ、中身が傷む心配は減りましたが、詰めるおかずに悩むことは変わらず。当の子供たちは、彩りは気にしないでいいし、好きなものなら毎日入っていても大丈夫と言ってくれますが、詰める方としては多少気になるもので...この時期、緑のパリエーションは増えましたが、おいしく入れられる赤色を探しています。